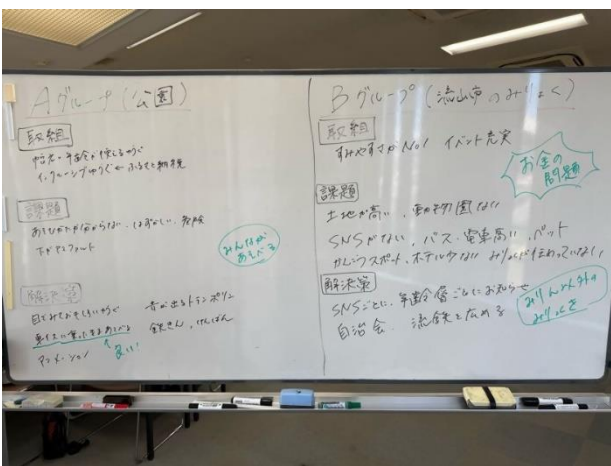
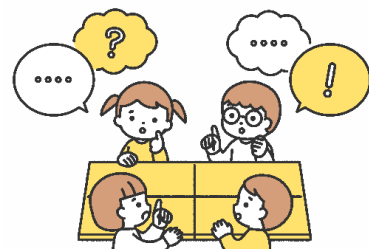




れいわ ねんど
令和7年度
 ながれやまし かいぎ
流山市こども会議のきろく

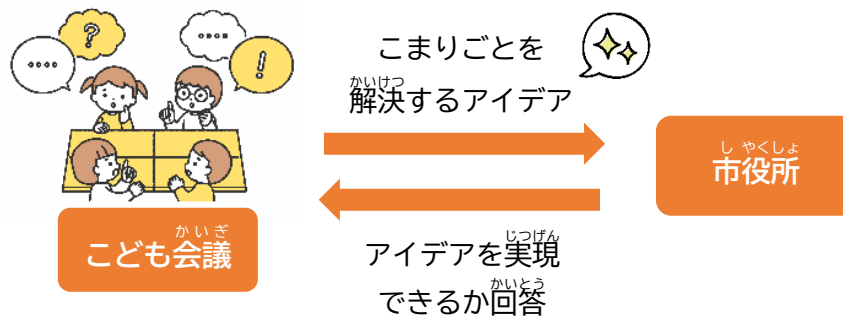


ながれやまし わかもの ながれやまし
流山市では、子ども・若者と一しょにまちづくりをするため、「流山市子ども
かいぎ はじ かいぎ せい か
会議」を始めました。このきろくは、そのとりにくみ ないよう せい か
取組の内容と成果をまとめたものです。

1 ながれやまし かいぎ 流山市子ども会議って？

ながれやまし しょうがくせい ちゅうがくせい ながれやまし
流山市の小学生から中学生の子どもたちがあつまって、流山市が「こうしたらも
たの いたく いたく いたく いたく
っと楽しくなる」「こんなことがあったらいいな」といった意見を、子どもたちが自由
はな あ ちゅうしん かいぎ
に話し合う、子どもが中心の会議です。

れいわ ねんど ながれやまし こま かいけつ はな あ
令和7年度は、「流山市の困りごと」を解決するためのアイデアを話し合ってもらい、
しちょう きょういくちょう はつびょう はつびょう
市長や教育長に発表してもらいました。また、発表してもらったアイデアは、市
やくしょ しょくいん じつげん はな あ けっか ちよくせつた
役所の職員が実現できるか話し合っ、その結果を直接伝えました。



なんのために子ども会議があるの？

ながれやまし め ぎ
流山市は「子どもにやさしいまちづくり」を目指しています。
じつげん きょうりょく ひつよう
実現するためには子どもたちの協力が必要です。

こどもはしゃかい いちいん けんり
子どもは社会の一員であり、たくさんの権利を持っています。

けんり たいせつ かいぎ はじ
子どもの権利を大切にするために、子ども会議を始めました！

こどもの権利ってなに？

こども ひとり ひとりが じんけん けんり
子ども一人ひとりが「人権」「子どもの権利」を持っています。

けんり せかいてき こ けんりじょうやく き たいせつ
子どもの権利は世界的に、「子どもの権利条約」という決まりごとで大切なものと
してまも さられています。

こ けんりじょうやく げんそく 子どもの権利条約の4つの原則

- ① いのち まも せいちよう
命を守られ成長できること
- ② こどもにとって 最もよいこと
子どもにとって最もよいこと
- ③ いけん ひょうめい さんか
意見を表明し参加できること
- ④ さべつ
差別のないこと

こども会議かいぎに参加さんかしたいけど、ちゃんとしゃべれるか不安ふあん…
はじめて会う子ことうまく話はなせるかな…
なんだか難むずかしそうだし、きんちょうするかも…

大丈夫だいじょうぶ！みんなが安心あんしんして、こども会議かいぎに参加さんかできるように
たくさん工夫くふうして、みんなをサポートします！

こども会議かいぎの3つのポイント



ポイント1

大学生だいがくせいのお兄さんにい・お姉さんねえが、みんなの話はなし合あいをサポートしてくれるよ！

ポイント2

みんなが安心あんしんして自分じぶんの意見いけんを言いえるように、決きまりごとがあるよ！

ながれやまし 流山市かいぎこども会議きの決きまりごと

- 1 会議かいぎに関かんすることなら、どんなことでも話はなして大丈夫だいじょうぶ！
- 2 ほかの人が話はなしているときは、さえぎらずに、話はなしを聞ききましょう。
- 3 つかれたら、きゅうけいしてね。

ポイント3

みんなに内容ないようが分かるように、分わかりやすいことばで説明せつめいしたり、資料しりょうにはふりが
なをふってあるよ！

2 令和7年度のこども会議の活動

(1) 活動の流れ

参加者募集 6月から7月まで

市内在住・在学の小学生から中学生を対象に、こども委員を募集しました。市HPやスキットメール、児童館やこども食堂などにチラシを配ってお知らせしました。

参加人数 小学2～6年生 10人
中学1～2年生 6人 合計 16人



第1回 7月28日(月)

はじめに自己紹介やかんたんゲームをしました。その後、3グループに分かれて活動しました。各グループには、大学生のお兄さん、お姉さんが参加して、話し合いのサポートをしてくださいました。市役所から募集した11個の困りごとの中から、グループごとに話し合うテーマを1つ決めました。

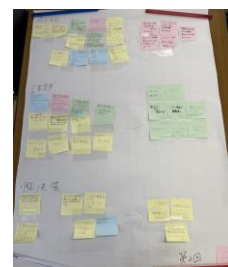
募集チラシ



テーマ決め

第2回 8月8日(金)

グループごとにそれぞれのテーマについて、市の取組、課題、解決策を話し合いました。



ふせんを使って話し合い

第3回 8月15日(金)

さらにくわしくグループごとに話し合いをしました。



みんなで資料作成

第4回 8月27日(水)

発表資料を作って、発表練習をしました。



報告会で発表

成果報告会 8月29日(金)

市長と教育長に発表しました。意見交換会をしました。

ふりかえり会 12月26日(金)

みんなが発表した内容を、流山市が実現できるか、直接こども委員に答えました。市役所の職員といっしょに話し合いをしました。

(2) みんなで話し合った内容

Aグループ 「総合運動公園の遊具広場を使いやすくするには？」

ながれやまし 流山市のこまりごと



- 遊具が人気で、みんなが遊びたくて行列になってしまう。
- 遊具広場のとなりにある大型の遊具では、体の弱い子や車いすの子には遊ぶのが難しい。

こども会議に解決してほしいこと



- こどもたち誰もが、みんなで一緒に遊ぶためには、どんな遊具を設置したらいいと思いますか。

総合運動公園の遊具広場について、グループで話し合い、市の取組、課題、解決策を考えました。(グループワークで作成したもぞう紙より)

市の取組 (現状)

- ・幅広い年齢が楽しめる遊具がいろいろな公園にある
- ・インクルーシブ遊具は3つ使われている
- ・ふるさと納税でお金を集めて遊具を設置している

課題

- ・遊び方が分からない
- ・みんなが楽しめる道具が少ない
- ・砂ぼこりの対策
- ・特定の遊具が人気で混む

解決策

- ・遊び方説明の看板 (こどもたちが遊び方を分かるようにするため)
- ・ホームページに遊び方をのせる (保護者用、こどもと一緒に遊べるように、きっかけにする)
- ・色をカラフルにする (楽しそうに見せる、視覚的に楽しめるように)
- ・上と下で会話ができる遊具を設置する (下の人は車いすでも楽しめる)
- ・回るやつ (遊具) の下にコルクを敷く (砂ぼこり対策)
- ・壁に絵をかって回すと見られるようにする、それにオルゴールを付ける (目でも耳でも楽しめるように)
- ・目の錯覚 (目で見て楽しめるように)



はっぴょうないよう
Aグループの発表内容

- **遊び方が書いてある看板の設置。**
(子どもたちが遊び方を知ることができる)
- **ホームページに遊び方を載せる。**
(公園に来てもらうためのきっかけに！)
- **複合型遊具を作る。(3階建て)**



うんどう こうえん げんじょう とりくみ
運動公園の現状(取組)

- **インクルーシブ遊具は3つ設置してある。**

2

うんどう こうえん げんじょう たい かだい
運動公園の現状に対する課題

- ① **遊び方のわからない遊具がある。**
- ② **みんなが楽しめる遊具が少ない。**

3

こどもたちが遊び方を
知ることができる！

- **遊び方が書いてある看板の設置。**
- **ホームページに遊び方を載せる。**

公園に来てもらうための
きっかけに！

4

提案内容②
複合型遊具を作る。(3階建て)

1階

5

2階

6

3階

7

Aグループの提案 ^{ていあん} ^{あそ} ^{かた} ^か ^{かんばん} ^{せっち}
遊び方が書いてある看板の設置



みどりの課

じつげん
実現します。

めずらしい^{ゆうぐ}遊具は、^{あそ} ^{かた} ^か ^{かんばん} ^{せっち}遊び方が書いてあるとみんなが^{あんぜん}安全に
^{つか} ^{てん} ^{おも}使えるようになる点がいいと思います。
^{れいわ} ^{ねん} ^ど ^{せっち} ^む ^{うご}令和8年度設置に向けて動いています。



Aグループの提案 ^{ていあん} ^{あそ} ^{かた} ^の
ホームページに遊び方を載せる



みどりの課

じつげん
実現します。

^{ゆうぐ}遊具をみんなに知ってもらえて、^{あそ} ^{きに} ^{きて} ^{くる} ^{ひと}遊びに来てくれる人が
^ふ ^{おも}増えるきっかけとなるのでとてもいいと思います。
^{こん} ^{ねん} ^ど ^{ちゅう} ^{じつげん} ^む ^{うご}今年度中の実現に向けて動いています。

Aグループの提案 ^{ていあん} ^{ふく} ^{ごう} ^が ^た ^{ゆう} ^ぐ ^{つく} ^{かい} ^だ
複合型遊具を作る（3階建て）



みどりの課

じつげん ^む ^と ^く
実現に向けて取り組んでいます。

もらった^{ていあん} ^{なが} ^れ ^や ^{まし} ^め ^ざ ^{からだ} ^{よわ} ^こ ^{くる} ^ま提案は流山市が目指している体が弱い子や車い
^す ^こ ^{あそ} ^べ ^る ^{ない} ^{よう} ^{てん} ^が ^{おも}すの子も遊べる内容となっている点がとてもいいと思いま
^い ^ち ^ぶ ^{ない} ^{よう} ^{しゅう} ^{せい} ^{ゆう} ^ぐ ^つ ^く ^る ^た ^め ^の
す。一部内容の修正がありますが、遊具をつくるための
^{かね} ^よ ^{さん} ^{じゅん} ^び ^{れいわ} ^{ねん} ^ど ^{じっ} ^し ^む ^{うご}
お金（予算）を準備するなど令和8年度実施に向けて動
いています。




遊具のイメージ図（※今後変更の可能性ががあります。）

市役所の回答を聞いて子ども委員で話し合ったこと


（ふりかえり会で作成したもぞう紙より）

- ・思った以上に遊具の案を採用してもらえてうれしかった。
- ・自分たちが考えたことが本当に実現に向かって動いていておどろいた。流山市に協力できてよかったと思う。流山市にはまだ困りごとがたくさんあったので、来年も子ども委員として協力したいと思った。
- ・ベンチも楽しめるようにしてほしい。（カラフルにする。仕組みをつけるなど）
- ・2つの提案内容を組み合わせて屋根を流山市の形にしていたのが面白いし嬉しかった。でも、屋根が小さいと思う。
⇒屋根をさんかくにした方がふせげると思います！
⇒屋根をちゃんどつakって、そのところに流山市の絵をかいてください。
- ・うんていの色は赤、ピンク、オレンジ、黄色がいいと思います。
- ・いもむしみたいな物があったほうがいいと思います。
- ・（すべり台をパイプにしたことに対して）パイプじゃない方がいいと思います。
⇒すべり台（3階）をあつくない素材にする。
- ・すな場があった方がいいと思います。
⇒砂場を採用してください。（イチオシ！）
- ・回すやつ+音がなくなっている。
- ・どこから見ても楽しめる遊具にしてほしい。
- ・後ろの遊具をふやす。

Bグループ 「流山市の魅力はどうすればもっと伝わる？」

ながれやまし
流山市のこまりごと 

- 東京都、流山市以外の千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県に住んでいる人にアンケートしたところ、流山市を知っている人の割合は、約70%でした。
- しかし、流山市に良いイメージを持っている人の割合は、約24%でした。

か い ぎ か い け つ
こども会議に解決してほしいこと 

流山市のことを、たくさんの人に具体的に良いイメージを持って知ってもらうために、どんな取組をしたらいいと思いますか。

ながれやまし みりよく はな あ し とりくみ か だ い か い け つ さ く か ん が
流山市の魅力について、グループで話し合い、市の取組、課題、解決策を考え
ました。 (グループワークで作成したもぞう紙より)

し とりくみ げんじょう
市の取組 (現状)

- ・ イベントが多い (夜に水の中に光を入れるイベント、花火など)
- ・ 消防隊が優しい
- ・ 消防署がインスタを出している
- ・ 地域住民が自主的に防犯活動を活発にしている
- ・ 日本に2つしかないものの1つが流山市にある (一茶双樹記念館)
- ・ 白みりんミュージアムで「日本でここしかつくれないオリジナルみりん」を作れる
- ・ ホームページを頑張っている (情報が多い)
- ・ 都心から一番近い森のまち
- ・ 子育て支援 (医療費助成、保育サービスの充実)
- ・ 子育て施設の整備、公園整備
- ・ 日本一児童の多い小学校ランキング (2位おたかの森小、3位小山小、9位南流山小)

か だ い
課題

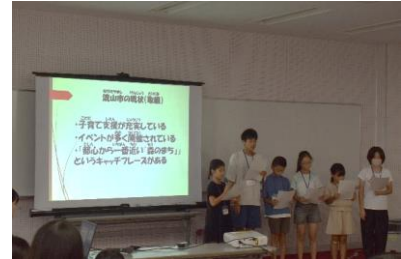
- ・ こどもからするとあまりイベントが楽しくない。
- ・ イベントは多いが大体の人が認知していない
- ・ SNSがあまり発展していない
- ・ キャラクターを知らない人が多い
- ・ 流山市にゆかりがある人物があまり知られていない

か い け つ さ く
解決策

- ・ もっとこども向けのイベントを作る。大人とこどもが一緒に楽しめるイベントを作る。
- ・ 有名な人を呼んでイベントをする
- ・ SNSの流行を取り入れる
- ・ SNSで一茶双樹記念館が流山と長野にしかないことを伝える
- ・ SNSで白みりんミュージアムでは「日本でここしかできないオリジナルみりん」を作れることを伝える
- ・ 学校を撮影現場にしてもらう (聖地巡礼などで人が来ることに期待)

Bグループの発表内容

- こども向けのSNS動画を作成する
- 具体的に
 - ・ながれやましの季節のイベント、一茶双樹記念館や白みりんミュージアムの情報をSNSで拡散
 - ・学校でのドラマ撮影に密着
 - ・流山のいいところをこどもが紹介する。
 - ・流山市に引っ越してみても良かったこと。



ながれやまし げんじょう とりくみ
流山市の現状(取組)

- ・子育て支援が充実している
- ・イベントが多く開催されている
- ・「都心から一番近い『森のまち』」というキャッチフレーズがある

ながれやまし げんじょう とりくみ
流山市の現状(取組)

- ・保育サービスが充実しており子育て支援施設の整備がされている
- ・日本に二つしかない記念館がある(一茶双樹記念館)
- ・季節に合わせたイベントが多くある

ながれやまし げんじょう たい かい
流山市の現状に対する課題

- ・大人向けの動画やSNSはあるけど、子ども向けの動画やSNSがあまりない

ていあんないよう
提案内容

- ・子ども向けのSNS動画をこどもが作成する！！

くたいてき
具体的に

- ・ながれやましの季節のイベント
- ・一茶双樹記念館や白みりんミュージアムの情報をSNSで拡散
- ・学校でのドラマ撮影に密着

くたいてき
具体的に

- ・流山のいいところをこどもが紹介する(私たちが知っているおすすめスポット)
- ・流山市に引っ越してみても良かったこと

市役所の回答

Bグループの提案 **子ども向けのSNS動画を作成する**



マーケティング課

流山のおすすめスポットや引っ越してよかったところを子どもが紹介する動画制作を進めます。
子どもの目線で紹介することで魅力がより広がります。
他の市ではなかなかない動画なので、注目されます。



このプロモーション動画に、小学生や中学生のみなさんにも出てもらって、おすすめの場所を紹介したり、流山に引っ越してきて「ここがよかった!」と思うところを話してもらえたら、大人とはちがう目線で見た流山のよさを、全国の人に伝えられると思います。

Bグループの提案 **一茶双樹記念館や白みりんミュージアムの情報をSNSで拡散する**



マーケティング課

一茶双樹記念館や白みりんミュージアムについては、指定管理者※が、流山市の代わりに運営をしています。
その会社が、もうすでにイベントの紹介やSNSでの発信を行っています。

※流山市がもっている施設の運営を、市の代わりに民間の会社などにお願いするしくみのことです。

Bグループの提案 **学校のドラマ撮影に密着する**



マーケティング課

ドラマの撮影は、テレビ局や映画を作る会社が行っているの
で、流山市が自由に決めることはむずかしいです。
市ができることは、撮影に使える場所を紹介したり、学校などの施設を貸したりするところまでになります。


市役所の回答を聞いて子ども委員で話し合ったこと

(ふりかえり会で作成したもぞう紙より)


<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが出した提案を、ちゃんとけんとうしてくれたのがうれしかった。 →ありがとう！私も提案うれしいです。 ・ぼくもインタビューされてみたいです。 →ぜひ！ ・私たちも動画に出れますか？ →出られます！ ・XやYouTube以外のSNSでの投稿予定などはありますか。 →インスタ、フェイスブックをやってます。 ・自分たちの出した提案についてすぐに取り組んでくれて嬉しかったです。 →みなさん動画に出演できます。 ・まず自分たちがみりよくを知らないといけな いと思いました。 →これからもどんどんみりよくを見つけて下 さい。 ・流山市のきれいなところやすごいところを 写真にとってとうこうすると、きれいなけし きをみにくる人※もくるから、写真をとうこ うしてもいいと思いました。 ※SNSにとうこうしにくる人など →インスタグラムで取り組めますね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室でもインタビューできますか。 →OK！ ・動画に出る人はどうやって選ぶんですか。 →マーケティング課で、つながりなどで選ん でいます。 ・じつげんすることをいっしょにがんばりまし よう。 →お願いします。 ・どこでインタビューするのですか。 →市内どこでも行けますよ。 ・SNSや動画をどうやって作ってるんですか。 →マーケティング課で動画制作会社と契約し てそこが作ります。 ・目線を子どもにすることで流山市の魅力をつた わりやすくなるんだなあと思いました。 →私もそう思います！
--	---

※→は、子ども委員のコメントに対する、職員コメント

Cグループ 「食品ロス^{しよくひん}を減^へらすには？」

ながれやまし
流山市のこまりごと 

- 食品^{しよくひん}ロス^{げんじょう}の現状^しを知^{ひと}っている人^{すく}が少^{すく}ない。
- 食品^{しよくひん}ロス^{さくげん}削減^{たい}に対するPR^{おこな}をどのよう^{きょうりよく}に行^{おこな}えば、みんなに協^{きょうりよく}力^{りよく}して
もらえるのか知^しりたいです。

か い ぎ か い げ つ
こども会議^{か い ぎ}に解決^{か い げ つ}してほしいこと 

食品^{しよくひん}ロス^しについてみんなに知^しってもら^とうた^とめに、ど^とんな取^と組^とをし^とたらいい
と思^{おも}いますか。

食品^{しよくひん}ロス^しについて、グル^{はな}ープ^あで話^しし合^とい、市^しの取^と組^と、課^か題^{だい}、解^か決^い策^{さく}を考^{かんが}えま
した。 (グル^とープ^とワ^とーク^とで作^さ成^{せい}したも^しぞう^し紙^しより)

市^しの取^と組^と (現^{げん}状^{じょう})

- 食品^{しよくひん}ロス^{ねんかん}は年^{まい}間^{にち}38kg、毎^{まい}日^{にち}103g
- 3010運^{うん}動^{どう}
- ポス^よター^よでの呼^よび^よかけ
- チラシ^{ちらし}を公^{こう}民^{みん}館^{かん}の入^いり口^{ぐち}に置^おく
- クリ^くー^りン^んセ^せン^んタ^たー^ーのホ^ほーム^ーペ^ぺー^ージ^じを作^{つく}っ^てて^いる。
- 賞^{しょう}味^み期^き限^{げん}の近^{ちか}い^{やす}も^うの^すを安^{やす}売^うり^するコ^こー^なー^ーを作^{つく}っ^てい^る
- 給^{きゅう}食^{じよく}での食^{しよく}品^{ひん}ロス

課^か題^{だい}

- 自^じ分^{ぶん}のお^りな^かの量^{りょう}を考^{かんが}え^ずに食^たべ^てい^る
- 給^{きゅう}食^{じよく}の時^{じかん}間^{あひだ}が短^{みじか}い
- 食^{しよく}品^{ひん}ロス^{りょう}の量^{りょう}を知^しら^ない人^{ひと}が^いる
- 食^{しよく}品^{ひん}ロス^{たい}に對^{たい}する市^しの取^とり^と組^とみ^しを知^しら^ない
- フ^ふード^{うん}バ^んク^{どう}を知^しら^ない
- 3010運^{うん}動^{どう}を知^しら^ない人^{ひと}が^いる

解^か決^い策^{さく}

- 弁^{べん}当^{とう}の日^ひをつ^くる (学^が校^{こう}の給^{きゅう}食^{じよく}のメ^めニ^にー^ーが嫌^{きら}いなも^もの^{もの}が^おお^おしい食^{じよく}材^{ざい}を分^わか^らな^いよう
に^いれ^る)
- 給^{きゅう}食^{じよく}の時^{じかん}間^{あひだ}を長^{なが}く^する
- 掲^{けい}示^じ板^{ばん}に食^{しよく}品^{ひん}ロス^{しよくひん}を減^へら^そう^とい^う掲^{けい}示^じを貼^はる。
- 3010運^{うん}動^{どう}のポ^ポス^ポター^{ター}をイ^いラ^らス^らト^トで^{つく}り、色^{いろ}々^{いろ}な場^ば所^{じょ}に貼^はる (レ^れス^れス^らン^んや人^{ひと}が
た^たく^たさん集^あま^ある場^ば所^{じょ})
- 食^たべ^の残^{のこ}したも^もの^{もの}の持^もち^{かえ}帰^{かえ}り^を義^ぎ務^む化^かす
- お^お店^{みせ}の端^{はし}に持^もち^{かえ}帰^{かえ}り^用のタ^たッ^たパー^{パー}を置^おく
- お^お店^{みせ}の机^{つくえ}の上^{うへ}にド^もギー^{ギー}バ^もグ^{かえ} (持^もち^{かえ}帰^{かえ}り^用
袋^{ぶくろ})を置^おく、設^せ置^ちを義^ぎ務^む化^かす
- 食^たべ^の残^{のこ}し^もを^もち^{かえ}帰^{かえ}るとク^たー^{のこ}ポ^もン^もが^もら^えて、次^{つぎ}来^きる^つと^かき^つに^つか^つえ^るよう^にす^る
- 食^たべ^られ^なさ^さそう^だつ^たら^らハ^たー^のフ^たイ^のズ^のに^たす^るよう^に頼^{たの}む
- 料^{りょう}理^りをつ^つく^とき^じに^{ぶん}自^じ分^{ぶん}の食^たべ^られ^る量^{りょう}をつ^{つく}る
- 食^{しよく}材^{ざい}を^かい^うと^き、食^たべ^さけ^る量^{りょう}の材^{ざい}料^{りょう}を^かい^う
- 賞^{しょう}味^み期^き限^{げん}の表^{ひょう}示^じを赤^{あか}色^{いろ}に^めして^だ自^じ立^たた^せる

Cグループの発表内容

- 階段の踊り場やエスカレーター。壁などにポスターをはる。
(デパートなど、よく目にとまる場所にはる)
- ティッシュペーパーなどひつようなものにはりつけ、配る。
(季節に応じて、うちわやホッカイロなどを配る)
- 新しいキャラクターを作ること
(ケロクルはいますが、食品ロスのキャラクターを作る)



ながれやまし げんじょう とりくみ
流山市の現状 (取組)

- ・ポスター
- ・SNS
- ・3010運動

はん で いけん
班で出た意見

- ▶ ポスター
夏休みの学校の宿題
を出す (食品ロス)
- ▶ SNS
新しいキャラクターを
作る

ケロクル

(参考) 川西市食品ロスポスター

ながれやまし げんじょう たい かい
流山市の現状に対する課題

- ▶ 見ない人、見られない人がいる
- ▶ お金、時間、人手がかかる
- ▶ 食品ロスの量をみんな知らない

ていあんないよう かいけつさく
提案内容、解決策①

- ▶ 階段の踊り場やエスカレーター、壁などにポスターをはる
(デパートなど、よく目に止まる場所にはる)

ていあんないよう かいけつさく
提案内容、解決策②

ティッシュペーパーなど必要なものにはりつけ、配る
(季節に応じて、うちわやホッカイロなどを配る)

ていあんないよう かいけつさく
提案内容、解決策③

- ▶ 新しいキャラクターを作ること
(ケロクルはいますが、食品ロスのキャラクターを作る)

市役所の回答

Cグループの提案 階段の踊り場やエスカレーター、壁などにポスターをはる



クリーンセンター

「食品ロス」コンクールを開催し、優秀なポスターを市内事業所への掲載を進めます。
現在、小学校4年生を対象に行っているごみ減量ポスターコンクールに来年度以降から食品ロス削減に関するポスターも併せて応募し、事業所等への配布に向けて動いていきます。

Cグループの提案 ティッシュペーパーなどひつようなものにはりつけて配る



クリーンセンター

時間やお金がとてもかかり、すぐに実施は難しいので別の方法を検討していきます。
ティッシュペーパーなど、何かプレゼントを渡すことは、食品ロスを考えるきっかけになるのでとても面白いです。
すぐの実現は難しいですが、ごみ減量ポスターコンクールで参加者に食品ロス削減の啓発グッズを配布できるか検討していきます。

Cグループの提案 新しいキャラクターを作る



クリーンセンター

ケロクルを活用して食品ロスを知ってもらえるような方法を検討していきます。
新しいキャラクターを作る発想はなかったので良かったです。ただ、新しいキャラクターと作ると、ケロクルを知ってもらえなくなる可能性があるので心配です。
そのためケロクルを活用して食品ロスを知ってもらえるような方法を検討していきます。

(ふりかえり会で作成したもぞう紙より)

- ・ レストランで大中小とメニューに書く。
- ・ どうしてできるのか、そうしてできないかの理由がちゃんとあってよかった。
- ・ 少し難しいような提案も検討していただけてうれしいです。
- ・ 食品ロスという難しい課題についていっしょに考えることができ楽しかったです。
- ・ 提案について動いてくださりありがとうございます。
- ・ しっかり考えてくれてうれしかった。
- ・ コンクールをかいさいしてくれるのはうれしいです。
- ・ 新しいキャラクターの話はキャラクターを作る前に、ケロクルをみんなに知らないと、と思った。
- ・ コンクールの課題はでたことはあったけど、やったことがなかったから、今後やってみたい。
- ・ この話を聞いて、かいだんの踊り場とかかべにポスターをはるといいう意見があつたのはうれしかった。
- ・ 公園のけいじばんや学校の中にもはったほうがいと思う。あとは飲食店にもはる。
- ・ コンクールを開催しても、皆がやらなきやいみがないからそこをどうするか。考えたほうがいと思ひました。
- ・ コンクールの参加賞でドギーバッグを配る。
- ・ ケロクルのポスターをもっといろんなところにはる。
- ・ 4時のチャイムを食品ロスのうたにすれば皆聞くとおもう。
- ・ 広報ながれやまやちいき新聞に食品ロスの事をかかせてもらう。
- ・ ホットプラザのげんかんにケロクルやポスターをはる。
- ・ ポスターをグッズにくっつけたほうがいとおもう。
- ・ 流山水のラベルにケロクルなどをはる。
- ・ 自分たちの提案について一つ一つ考えてくれてよかったと思ひました。
- ・ ティッシュペーパーの話は、時間はかかるけどがんばってやってほしい。
- ・ しょうみきげんを赤にしてしょうみきげんをめだたせる。
- ・ Bグループの動画等にのせてもらう。
- ・ 新キャラとケロクルのやくわりを変えれば新キャラを作ってもいとおもう。
- ・ 電車のホームの所にもポスターをはる
- ・ クリーンセンターに温泉があることを知らせて、クリーンセンターにきてもらう。
- ・ フードロスのことについて基本的な所は知っていたけれど、さらにくわしくしれた。
- ・ 市の人はけっこうしっかりと考えてくれてるんだな。物事を決めるのは難しいんだと思ひました。
- ・ ケロクルを二代目ケロクルにすれば、ケロクルを消さずにアピールできるとおもう。
- ・ クリーンセンターの温泉のおけのうらにケロクルを書く。

3 参加した子ども委員の感想や意見

Q. 子ども会議に参加したことがきっかけで、自分の考えや行動が変わったなということがあれば教えてください。

いっぱい考えが出せるようになった。人前で発表するのがとくいになった。

学校での話し合いで発言するのが怖くなくなって、発言が楽しくなりました。物事を色々な視点で考えられるようになった。

Q. また子ども会議に参加したいと思いますか？

いろいろかんがえるのがたのしかったからもう1回やりたい。

他校の人と友達になれたし、流山市の課題について話し合うのが楽しかったです。



子ども会議を通じて、子どもたちの意見が市の取組につながることを、子どもたちに実感してもらいました。今後も流山市では、こどもの声を大切にしながら、子どもにやさしいまちづくりを進めていきます。

れいわ ねん どながれやまし かいぎ
令和7年度流山市こども会議のきろく

れいわ ねん がつさくせい
令和8年1月作成

はっこう ながれやまし こ かていぶ こ かていか
発行 流山市子ども家庭部子ども家庭課

じゅうしょ
住所 〒270-0192

ちばけん ながれやましへいわだい ちょうめ ばんち
千葉県流山市平和台1丁目1番地の1

でんわ
電話 04-7150-6082

FAX 04-7158-6696